

桑員区域の平成30年度具体的対応方針(案)

資料 4-2

区域の概要

・2025年の病床数の必要量と2017年度の病床機能報告との比較では、介護保険施設等への移行96床を除くと、ほぼ一致となる。  
 ・病床機能別に比較すると、高度急性期機能及び急性期機能については256床過剰である一方、回復期機能については425床が不足する。2025年に向け、急性期から回復期への病床機能の転換を進める必要がある。  
 ・桑名市総合医療センターの新病院移行による県外への流出減に伴う、急性期後の患者の受入先の確保にも留意が必要である。

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養・無回答等	計
桑名東医療センター	17	304				321
桑名西医療センター	-	-			-	0
桑名南医療センター					79	79
いなべ総合病院		220				220
日下病院		106		48		154
青木記念病院		46	58			104
ヨナハ総合病院		53	52	42		147
ヨナハ産婦人科小児科病院		38				38
もりえい病院		34		20		54
長島中央病院				256		256
大安病院				50		50
桑名病院				50		50
山崎病院				48		48
ウエルネス医療クリニック		19				19

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数					
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数				介護保険施設等に移行(2023年)
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
桑員構想区域の高度急性期・急性期医療や救急医療の中心的役割を担うとともに、周産期医療の県最北端の拠点としての役割を担う。 <input checked="" type="checkbox"/> 救急 <input checked="" type="checkbox"/> 小児 <input checked="" type="checkbox"/> 周産期 <input checked="" type="checkbox"/> 災害					
いなべ市唯一の総合病院として、いなべ地域の急性期医療について、中心的役割を担うとともに、回復期機能についても対応する。また、行政、医療機関、訪問看護が一体となった地域包括システムの構築を目指す。 <input checked="" type="checkbox"/> 救急 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 周産期 <input checked="" type="checkbox"/> 災害					
別途、今後の対応方針等について、提出を依頼中。					
					96
整形外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②専門医療を担って病院の役割を補完する機能、③緊急時に対応する機能、④在宅医療の拠点としての機能、⑤終末期医療を担う機能を担う。					

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
ほりべレディースクリニック		13				13
中部眼科		10				10
田淵眼科		4				4
大桑クリニック		2				2
もりえい病院附属湾岸さくらクリニック		1				1
浜島外科			19			19
宮口内科循環器科				19		19
青木内科				19		19
医療法人坂井橋クリニック				19		19
計	17	850	129	571	79	1,646

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数					
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数				介護保険施設等に移行(2023年)
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能や、②緊急時に対応する機能を担う。					
眼科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。					
過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
過去1年間に入院患者を収容していないことから、今後の運用の見通しについて説明いただく予定					
循環器内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能、③在宅医療の拠点としての機能、④終末期医療を担う機能を担う。					
循環器内科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②緊急時に対応する機能を担う。					
内科、糖尿病内科(代謝内科)、リウマチ科を標榜し、①病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、②在宅医療の拠点としての機能、③終末期医療を担う機能を担う。					
(計)					
2025年の病床数の必要量	114	497	554	383	1,548
2025年の病床数の必要量と2017年病床機能報告との差	-97	353	-425	188	98

※なお、この具体的対応方針については、毎年度、地域医療構想調整会議で協議し、とりまとめることとします。

別途、今後の運用見通しについて、提出を依頼中。